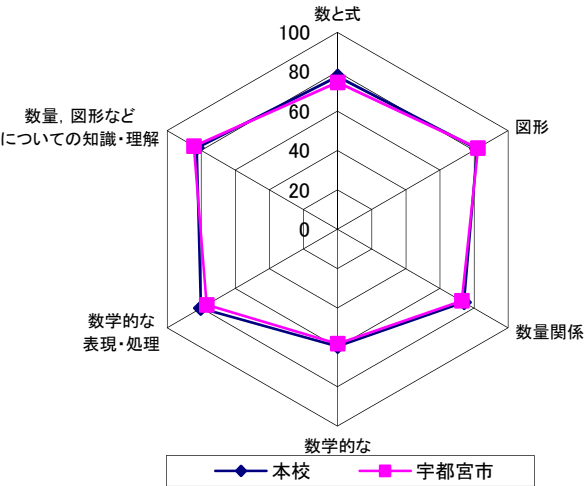


宇都宮市立国本中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	77.6	74.6
	図形	81.7	82.2
	数量関係	74.1	72.8
観点別	数学的な見方や考え方	59.4	58.1
	数学的な表現・処理	80.3	76.8
	数量、図形などについての知識・理解	82.6	84.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (77.6%)	・平均正答率が宇都宮市の平均より3.0ポイント高い。しかし、内容別に見ると、連立方程式に関する問題については市の平均を下回っている。	・連立方程式の解法、解の意味、文章問題における立式など、基本的な問題を中心に繰り返し演習を行う必要がある。
図形 (81.7%)	・平均正答率は宇都宮市の平均と同等である。内容別に見ると、三角形の合同に関する問題については市の平均を上回っている。しかし、平行線と角の性質については大きく下回り、－12.6ポイントであった。	・図形の基本性質に関する知識を確実に習得させるため、振り返る機会を頻繁に設ける必要がある。
数量関係 (74.1%)	・平均正答率が宇都宮市の平均より1.3ポイント高い。1次関数の基本的内容についてはおおむね良好で、直線の式に関する問題については、市の平均を大きく上回っている。しかし、1次関数の利用に関しては市の平均を下回っており、－2.1ポイントであった。	・関数の式・表・グラフのもつ意味およびその特徴について深く理解させ、具体的な事象を例に説明できる力を身につけさせたい。